



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理室 (氏名) 黒田 修平 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,584	△0.5	1,642	2.9	1,779	4.6	1,211	19.5
29年3月期第3四半期	34,744	△4.7	1,595	3.4	1,700	2.7	1,013	8.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,473百万円 (14.8%) 29年3月期第3四半期 1,284百万円 (45.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	111.45	111.25
29年3月期第3四半期	91.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,211	18,776	56.3
29年3月期	30,839	17,664	57.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 18,707百万円 29年3月期 17,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「平成30年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	0.1	2,200	2.4	2,300	1.3	1,450	△1.9	133.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	11,280,177株	29年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	396,364株	29年3月期	415,904株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	10,866,055株	29年3月期3Q	11,096,508株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善等を背景に穏やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済については穏やかな回復傾向が見られるものの、一部地域における地政学的リスクの懸念や欧米各国の政策動向など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場は、診療報酬の改定の影響に加え、同業他社間の競争が激化しており、厳しい環境が続いております。また、調剤薬局市場は、平成28年4月に実施された調剤報酬及び薬価の改定の影響を受け、厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、臨床検査事業及び調剤薬局事業の収益力の向上を図るとともに、将来の事業環境の変化を見据えた事業展開を進めております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,584百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は1,642百万円(同2.9%増)、経常利益は1,779百万円(同4.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,211百万円(同19.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、今後の売上拡大に向けて、営業活動の強化に取り組んでおります。また、検査原価の低減や業務の効率化を図り、生産性の向上及びコスト競争力の強化に取り組んでおります。

臨床検査事業の売上高は、臨床検査の受託検体数の伸び悩み等により20,934百万円(前年同期比0.8%減)となりました。また、営業利益は、検査原価や医療情報システムの製品開発費が減少したものの、売上高の減収の影響により792百万円(同18.6%減)となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、堅実な店舗運営を推進しつつ、既存店舗の処方箋応需の拡大及び店舗運営の効率化に取り組んでおります。また、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすべく、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めております。

当第3四半期連結累計期間において、1店舗を開局したことにより、当第3四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は111店舗(フランチャイズ店5店舗含む)となりました。

調剤薬局事業の売上高は、処方箋応需枚数の伸び悩みやC型肝炎治療薬の処方箋応需の減少により、13,661百万円(前年同期比0.0%減)となりました。また、営業利益は、薬価改定の影響があった前年同期より増加し、1,002百万円(同14.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に現金及び預金、投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2,372百万円増加し、33,211百万円となりました。

負債は、主に借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ1,259百万円増加し、14,434百万円となりました。

また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ、1,112百万円増加し、18,776百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,356百万円増加し、8,065百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,848百万円(前年同期は1,153百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,893百万円、減価償却費640百万円及び法人税等の支払額832百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は790百万円(前年同期は1,533百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出341百万円及び投資有価証券の取得による支出480百万円によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は297百万円(前年同期は895百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額443百万円及び長期借入れによる収入580百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,729	8,085
受取手形及び売掛金	6,524	6,541
商品及び製品	1,150	1,351
仕掛品	51	43
原材料及び貯蔵品	410	477
その他	1,487	1,554
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	16,346	18,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,241	9,245
減価償却累計額	△5,473	△5,604
建物及び構築物(純額)	3,768	3,641
土地	4,591	4,589
リース資産	526	514
減価償却累計額	△426	△443
リース資産(純額)	100	70
その他	7,345	7,333
減価償却累計額	△6,546	△6,451
その他(純額)	798	882
有形固定資産合計	9,258	9,184
無形固定資産		
のれん	59	46
その他	311	386
無形固定資産合計	370	433
投資その他の資産		
投資有価証券	2,753	3,427
その他	2,127	2,129
貸倒引当金	△17	△9
投資その他の資産合計	4,863	5,546
固定資産合計	14,493	15,163
資産合計	30,839	33,211

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,816	5,408
短期借入金	1,800	2,100
未払法人税等	429	199
引当金	582	215
その他	2,325	2,585
流動負債合計	9,953	10,509
固定負債		
長期借入金	238	711
引当金	137	162
退職給付に係る負債	1,918	1,920
資産除去債務	147	151
その他	779	980
固定負債合計	3,221	3,925
負債合計	13,175	14,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,307	3,391
利益剰余金	11,108	11,873
自己株式	△579	△631
株主資本合計	17,208	18,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	701
その他の包括利益累計額合計	438	701
新株予約権	17	69
純資産合計	17,664	18,776
負債純資産合計	30,839	33,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	34,744	34,584
売上原価	24,261	24,186
売上総利益	10,483	10,397
販売費及び一般管理費	8,887	8,755
営業利益	1,595	1,642
営業外収益		
受取配当金	54	72
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	74	79
営業外収益合計	128	152
営業外費用		
支払利息	9	8
支払手数料	4	4
その他	10	3
営業外費用合計	24	16
経常利益	1,700	1,779
特別利益		
投資有価証券売却益	103	120
事業譲渡益	46	14
特別利益合計	149	134
特別損失		
固定資産除却損	13	18
投資有価証券売却損	44	—
減損損失	47	1
災害損失	23	—
事務所移転費用	18	—
その他	10	—
特別損失合計	157	20
税金等調整前四半期純利益	1,692	1,893
法人税、住民税及び事業税	677	592
法人税等調整額	1	90
法人税等合計	678	682
四半期純利益	1,013	1,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013	1,211

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,013	1,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	262
その他の包括利益合計	270	262
四半期包括利益	1,284	1,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,284	1,473

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,692	1,893
減価償却費	617	640
減損損失	47	1
のれん償却額	13	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△430	△367
受取利息及び受取配当金	△54	△73
支払利息	9	8
事業譲渡損益(△は益)	△46	△14
投資有価証券売却損益(△は益)	△58	△120
売上債権の増減額(△は増加)	629	△68
たな卸資産の増減額(△は増加)	△466	△261
仕入債務の増減額(△は減少)	△147	616
その他	311	353
小計	2,115	2,614
利息及び配当金の受取額	54	73
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△1,009	△832
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,153	1,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,393	△341
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△48	△238
事業譲渡による収入	52	15
投資有価証券の取得による支出	△539	△480
投資有価証券の売却による収入	496	312
保険積立金の解約による収入	20	5
その他	△121	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,533	△790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150	300
長期借入れによる収入	100	580
長期借入金の返済による支出	△261	△107
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△67	△65
配当金の支払額	△424	△443
自己株式の取得による支出	△391	△580
自己株式の売却による収入	—	613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△895	297
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,273	1,356
現金及び現金同等物の期首残高	7,945	6,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,671	8,065

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,082	13,662	34,744	—	34,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	0	16	△16	—
計	21,098	13,662	34,761	△16	34,744
セグメント利益	974	873	1,847	△251	1,595

(注) 1. セグメント利益の調整額△251百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,068百万円及び内部取引の消去に伴う調整額816百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,923	13,661	34,584	—	34,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	11	△11	—
計	20,934	13,661	34,596	△11	34,584
セグメント利益	792	1,002	1,795	△153	1,642

(注) 1. セグメント利益の調整額△153百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,004百万円及び内部取引の消去に伴う調整額851百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。